

★ 探究の過程に即した、活動のルーブリック

項目 【観点】	評価			段階
課題設定 研究計画 【主体性】	与えられた、または教師主導で設定した課題の目的を理解し、探究に取り組もうとしている。			C
	前期／どのような事象に興味を持ったかを明確にして自ら課題設定をし、探究に取り組もうとしている。 後期／前期の活動をふまえ、課題を改善したり、新たな課題を設定したりして、探究に取り組もうとしている。			B
	前期／どのような事象に興味を持ったかを明確にして自ら課題設定をし、事象と課題との関連性を考え、予想や仮説を立てて探究に取り組もうとしている。 後期／前期の活動をふまえ、明確な仮説のもと、研究方法や研究の進め方を具体的にイメージして、探究に取り組もうとしている。			A
基礎知識 【知識・技能】	テーマについて、既習範囲程度の知識・技能が不足している。			C
	テーマについて、既習範囲程度の知識・技能はおおむね身についている。			B
	テーマについて、既習範囲程度の知識・技能はじゅうぶんに身についている。			A
	観察・実験型	調査型	論理構築・作品制作型	
観察・研究 実験・調査 の技能 【知識・技能】	自分の課題に関連した観察や実験の計画を立てて実施しようとしているが、不十分なところが散見される。	課題解決の計画を立てて、必要最小限の客観的な調査を行うことができる。	自分の課題に関連した計算や試作を行っている。	C
	課題解決のために観察・実験・調査の計画を立て、適切な方法で実施している。	課題解決の計画を立てて、方法を工夫し、客観的な調査を行うことができる。	課題解決につながる計算や試作を行っている。	B
	課題解決のために、十分なデータが得られるよう計画を立て、適切な方法で観察・実験・調査を実施している。	課題解決のために十分な範囲と量のデータを収集できるよう計画を立て、客観的かつ具体的に調査することができる。	いろいろな方向から計算・試作を重ね、課題解決に有効なものを選び出して実施している。	A
	観察・実験・調査型		論理構築・作品制作型	
考察 【思考・判断・表現】	観察・実験・調査の結果に基づいて自分の考えをまとめようとしているが、不十分なところがある。		計算や試作の過程や結果と、自分の課題や研究の全体像との関連を考えようとしてはいるが、不十分なところがある。	C
	観察・実験・調査の結果から、規則性や共通性、関連性を導くことができる。また、適宜、仮説や計画・手法の妥当性を見直す視点をもっている。		計算や試作の過程や結果と、自分の課題や研究の全体像との関連を考察できている。また、適宜、仮説やアプローチの妥当性を見直す視点をもっている。	B
	観察・実験・調査の結果から、規則性や共通性、関連性を導くことができる。また、仮説や計画・手法の妥当性を常に吟味し、自分の研究に、柔軟に反映させている。さらに、科学研究とのつながりや、日常の科学的現象を意識した考察も行っている。		計算や試作の過程や結果と、自分の課題や研究の全体像との関連を考察している。また、仮説やアプローチの妥当性を常に吟味し、自分の研究に、柔軟に反映させている。さらに、科学研究とのつながりや、実際の運用を意識した考察を行っている。	A
学びを深める姿勢 粘り強さ 【主体性】	授業時間内に、最低限の活動を行っている。			C
	授業時間内に、自分たちの探究をすすめるため、主体的に活動している。発表会前などの時期には、課外の時間を活用して活動を行うこともある。			B
	ふだんから、課外で自主的に実験や観察、試作などを行ったり、探究に必要な情報を得るための調べ学習をしたり、研究機関を訪ねたりなど、自分たちの探究をよりよいものにするため、積極的に活動している。			A
発表技能 【知識・技能】	原稿、ポスター、パワーポイントを読み上げる形で発表を行っており、声も聴きとりづらい。			C
	はきはきした大きな声で、聴衆を見て発表を行っている。			B
	はきはきと大きな声で、伝えたい点を強調しながら、聴衆を見て発表を行っている。			A
発表構成力 【思考・判断・表現】	目的と結論が示されている。質問や疑問に対する回答がおぼつかない。	目的と結論が示されている。質問や疑問に対する回答がおぼつかない。		C
	目的と、仮説および観察・実験・調査の方法と結果、考察、結論が示されている。質問や疑問に対し、不十分なところはあるが、それなりに対応している。	目的と、計算や試作の過程、考察と結論が示されている。質問や疑問に対し、不十分なところはあるが、それなりに対応している。		B
	目的と、仮説および観察・実験・調査の方法と結果、考察、結論が示されており、専門外の高校生や教員にも研究の概要が伝わるような、首尾一貫した発表となっている。質問や疑問に対し、自分の言葉で適切に答えることができる。	目的と、計算や試作の過程や結果、考察と結論が示されており、首尾一貫した発表となっている。質問や疑問に対し、自分の言葉で適切に答えることができる。		A
	目的と、仮説および観察・実験・調査の方法と結果、考察、結論が示されており、専門外の高校生や教員にも研究の概要が伝わるような、首尾一貫した発表となっている。また、自分たちが特に面白いと思っている点や、研究の独自性が明確である。質問や疑問に対して、的確に答えるだけでなく、自分たちや聴衆の興味・理解を広げられるようなやりとりができています。	目的と、計算や試作の過程や結果、考察と結論が示されており、首尾一貫した発表となっている。また、自分たちが特に面白いと思っている点や、研究の独自性が明確である。質問や疑問に対し、適切に答えるだけでなく、自分たちや聴衆の興味・理解を広げられるようなやりとりができています。		S

出席 【主体性】
